



アイテムえひめ内に開所した住友重機械イオンテクノロジーの松山事務所。8日午後、松山市大可賀2丁目

住友重機械イオンテクノロジー

人材確保へ松山に拠点

開発機能強化

半導体製造に不可欠なイオン注入装置の開発製造などを手掛ける住友重機械イオンテクノロジー（東京）は8日、松山市大可賀2丁目のアイテムえひめ内に、設計開発機能を備える松山事務所を開いた。唯一の製造拠点の愛媛事業所（西条市今在家）と同等のネットワーク環境や設計環境を構築し、不足している設計者を人口の多い松山で確保するが狙い。

松山事務所の面積は約185平方メートル。社員3人と協力会社の5人程度が勤務し、将来的には協力会社を含め約30人を目指すという。

8日は開所式があり、関係者約80人が出席。同社の

村上純一社長（今治市出身）が「半導体市場は拡大しており、技術力や設計力の向上を図りたい」とあいさつした。

同社は住友重機械工業（東京）の100%子会社。半導体製造用イオン注入装置で国内シェア約6割、世界シェア約1割を占める。2019年3月期の売上高は235億円、19年6月現在の従業員は395人。松山事業所を含め国内外に15拠点ある。（渡部竜太郎）